

'14重症度、医療・看護必要度評価者 院内指導者研修

平成26年度診療報酬改定では、急性期病床における患者像ごとの評価の適正化を図るため、従来の看護必要度が「重症度、医療・看護必要度」に名称の変更が行われるとともに、A項目の創傷処置、呼吸ケア、専門的な治療・処置等の評価項目が見直されるなど、大幅な評価基準の改定が行われました。従って、これまで看護必要度評価者院内指導者研修を修了している方でも、改めて最新の知識を学び直した上で正しく評価ができるようにしなければなりません。本講座は26年度診療報酬改定に基づいた重症度、医療・看護必要度評価の解釈と実用に向け、衛星同時中継による記録の演習を含めた研修と、受講しやすいインターネットによるeラーニングでの学習を併用して正しく学び、修了証が発行される、一歩進んだ「重症度、医療・看護必要度評価者 院内指導者研修」です。現場において患者の重症度、医療・看護必要度評価が適切に行われ看護の質確保に生かされることを目標に、対応する全ての施設の方へご案内いたします。

8月31日(日) 9:30~17:00 全国同時中継

講師

東京都看護協会会長 **嶋森 好子 氏**
 山梨県立大学看護学部教授 **田中 彰子 氏**
 兵庫県立大学大学院経営研究科教授 **筒井 孝子 氏**

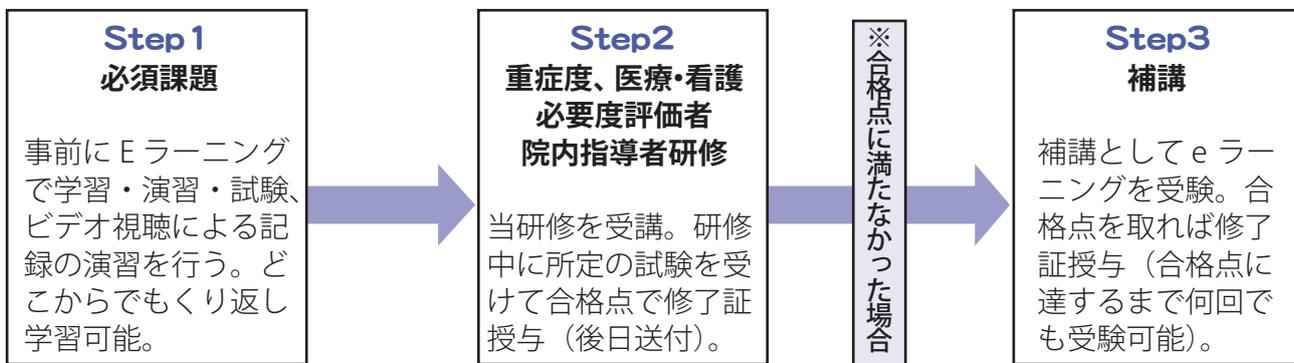
会場情報、お申込みは
 6月23日よりサイトにて
<http://s-que.net>

プログラム

- ◆ 開催の挨拶
- ◆ 講義Ⅰ「重症度、医療・看護必要度の考え方～要員管理を中心に」
- ◆ 講義Ⅱ「医療制度における重症度、医療・看護必要度と評価」チェックテスト実施
- ◆ 講義Ⅲ「重症度、医療・看護必要度の評価方法と項目の解説」
- ◆ 演習Ⅰ「重症度、医療・看護必要度評価方法のビデオ演習」解答用紙回収、解説
- ◆ 講義Ⅳ「記録と監査」
- ◆ 演習Ⅱ「重症度、医療・看護必要度と看護記録」ビデオ視聴、評価、記録、監査、フィードバックまで

中央会場(看護協会会員12,000円 非会員13,000円 : eラーニング受講/資料つき)
 衛星会場(看護協会会員 8,000円 非会員 9,000円 : eラーニング受講/資料つき)

研修修了証授与までの流れ



申込みの流れと必須課題

- ◆ Webサイト上で申込み後、5業務日以内に事務局から参加証がFAXで送信されます(6月23日以降)。
- ◆ 参加証に記載してあるURLにアクセスして「重症度、医療・看護必要度eラーニング」と「評価票・看護記録作成」の2つの必須課題を事前に行うことが修了証の発行条件です。作成した評価票・看護記録は必ず持参してください。
- ※参加証に各受講者のID・パスワード、参加費振込先情報が記載されております。

